

一般社団法人日本医療検査科学会
2025年度 第2回理事会

開催日時： 2025年5月17日（土）13時00分～15時00分
開催場所： 日本医療検査科学会事務局（Zoom併用）
出席者： 高橋聡理事長、清宮正徳副理事長、大川龍之介理事、中山智祥理事、
藤巻慎一理事、堀田多恵子理事、
欠席者： 石山雅大理事、橋口照人理事、増田亜希子理事、
萩原三千男監事、柳原克紀監事
議長： 高橋聡理事長
議事録作成者： 佐久間良太

議 題

1. 理事長挨拶
高橋理事長より、第2回理事会へご参集頂いたことへの謝辞があった。
2. 報告事項
 - 2-1. 総務職務報告（清宮副理事長）
JACLaS Awardの採点提出の呼びかけがあった。
 - 2-2. 入退会および会員数報告（清宮副理事長）（資料P2-5）
2025年4月12日～5月10日までの入会者93名、退会者3名の入退会があった。
また2024年度末（2025年3月31日）時点では名誉会員26名、功労会員40名、評議員133名、一般会員2276名、賛助会員46社であったと報告があった。
 - 2-3. その他
特になし
3. 審議事項
 - 3-1. 学術委員会委員異動申請（中山理事）（資料P6-13）
各委員会委員異動申請があり資料に基づき説明があり、審議の結果申請通り承認された。
 - 3-2. 学術委員会議事録確認（高橋理事長）（資料P14-39）
学術委員会議事録について資料に基づき説明があり、審議の結果承認された。
 - 3-3. 倫理・COI委員会内規（高橋理事長）（資料P40-43）
倫理COI委員会議事録と内規に基づき説明があり、以下の内容について議論があった。
 - ・COI（利益相反）の管理者や管理方法の内規に明記することとし、後日COI管理システムのデモを確認し今後の管理方法について検討することとなった。

- ・第 58 回大会に向けて、大会における COI の審査・確認方法を検討し内規に明記することとなった。
- ・今回提出いただいた内規案と編集委員会の投稿規定で「論文投稿の不正について内容（二重投稿など）」「研究成果の発表に関する細則」などが重なる部分があるとの指摘があった。学会誌への投稿は投稿規定、発表とそれ以外は倫理・COI 委員会内規で分けても良いのではとの意見があった。倫理・COI 委員会を決定機関と定め、内規を基としそれに準じて投稿規定の内容を合わせることにした。また内規が承認された後に投稿規定を見直すこととなった。
- ・二重投稿および二次発表の罰則規定について、「当該論文または演題に関わった筆頭著者および共著者、ならびに筆頭演者および共同演者は、その後 5 年間、本学会への論文投稿および学会発表を禁止する」と記載があり、罰則が重いとの意見が出た。（共著者も 5 年間発表禁止など）

上記の内容について、再度役員に確認していただきメール審議を行う事となった。

3-4. 編集委員会より（大川理事）（資料 P44-47）

学会誌の査読について倫理の承認がなされていないまま査読が通ってしまった論文があり、査読意見書と査読要領の一部文面に修正の申請があった。資料に基づき説明があり審議の結果、追加で下記の修正も行うことで承認された。

- ・査読要領 付記 （商品を除く）→（商品などを除く）

3-5. 生理検査委員会活動申請（事務局）（資料 P48-50）

生理検査委員会より「ISO15189・生理機能分野認定取得施設向け精度管理に関するアンケート実施」についての申請があった。審議の結果委員会に調査項目を確認し、再度検討することとなった。

3-6. 名誉会員・功労会員選出（事務局）（資料 P51）

2025 年度定時社員総会時に退任となる評議員（社員）について資料に基づき説明があった。また退任となる評議員から以下 14 名を、定時社員総会にて新規功労会員選出の提案をすることとなった。（敬称略）

阿部正樹、尾鼻康朗、片岡浩巳、木村聡、金原清子、末岡榮三朗、東田修二、中島康仁、西堀眞弘、藤本一満、古川泰司、前田士郎、盛田俊介、山田俊幸

3-7. 第 58 回学術大会大会長について（高橋理事長）

高橋理事長より第 58 回学術大会大会長に清宮正徳先生（国際医療福祉大学）が推薦され、審議の結果承認された。

3-8. 定時社員総会式次第と送付資料（清宮副理事長）（資料 P52-58）

定時社員総会式次第と送付資料について資料に基づき説明があった。以下の内容を修正し、修正後メールで再確認することとなった。

- ・「第 3 号議案 新規功労会員の選出について」、今回の理事会にて選出した内容

(3-6) に変更する。また返信ハガキの該当箇所も併せ修正する。

- ・第 4 号議案「役員を選任に関する提案」について、藤巻慎一先生の所属を修正する。

3-9. その他

- ・大川理事より、学会誌補冊の原稿料や謝礼を支払いについて意見があった。

大川理事：執筆者の負担が大きいという声があり、補冊は「販売している」ため原稿料または謝礼等をお支払いしても良いのではないかと。謝礼を与えないのであれば販売ではなく学会員のみ配る方が良いのでは。

高橋理事長：他学会の場合、非会員に執筆いただいた場合は原稿料をお支払いしていることがある。基本領域以外であれば、原稿料をお支払いしても良いのではないかと。

中山理事：他学会では「研究者の矜持に反するので支払うべきではない」という意見と「労力に対して対価を支払うべき」との意見に分かれることがあった。

清宮副理事長：補冊を「商業誌」と「論文誌・学術雑誌（査読をしたうえで配っている）」でどちらと捉えるかで検討が変わる。

堀田理事：販売しているのであれば謝金が発生しても良いと漠然と思う。また査読を受けた上で学会誌として出しているのであれば名誉なことである。

審議の結果、継続審議とすることとなった。また 2024 年発行した補冊の製作費と販売数を確認し、多くの方へ認知いただき購入いただけるよう販売方法を検討することとなった。

- ・大川理事より、JACLaS Award の演題数が増えてきたため評価方法の見直しに関する意見があった。審議の結果第 58 回大会以降は JACLaS Award I と II で採点者を分け評価を行うことで承認された。
- ・高橋理事長より、編集委員会の作業について「外注できる作業の抽出」また「和文誌を取り扱っている会社を探す」ことを大川編集委員長へ依頼した。
- ・高橋理事長より、JACLaS との協議を行い Award の選外者で一般演題も希望しない場合はポスター展示を依頼することとなったと報告があった。また展示会場にサテライトスペースを設けて、参加証を持っている方を対象とした学会内容の一部中継を行うこととなったと報告があった。中継内容については中山大会長と JACLaS で相談することとなった。懇親会をインターコンチネンタルホテルとなった事を報告した。

4. その他

- ・次回の理事会(旧役員)：6月22日(日) 13:00-14:30 学会事務局及び web 会議
- ・定時社員総会：6月22日(日) 15:00-15:30 学会事務局及び web 会議
- ・臨時理事会(新役員)：6月22日(日) 15:40-16:00 学会事務局

以上

2025年 6月22日

一般社団法人日本医療検査科学会

議長 高橋 聡  